



# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## クラブ協議会 (新委員会協議会)



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆様と一緒に読み下さい。



President

## 会長の時間

本日のプログラムは、クラブ協議会（次年度委員会協議会）となっており、また、6月1日には生石研修センターにおいてクラブ協議会の開催が予定されています。そこで、クラブ協議会について整理してみましたので、ご披露させていただきます。

**クラブ協議会は、「Club Assemblies」と言われているものでして、手続要覧には次のとおり記載されています。**

**「クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員の会合である。クラブの全会員の出席が要請される。クラブ会長もしくは指定された他の役員が、クラブ協議会の議長を務める。クラブ協議会は、ガバナーまたはガバナー補佐の訪問時、および他の適切な時に数回開かれる。クラブは、地区全域のプログラムと活動に関する報告が受けられるように地区協議会と地区大会の直後にクラブ協議会を開催するように奨励されている。」**

本日の例会は、委員会毎の協議会で、多少変則的なクラブ協議会であろうかと思えます。

かつては、ガバナー公式訪問の際に、新しく入会された会員の出席をも要請して、クラブ協議会が開催されておりました。ところが、近頃はガバナーの意向もあって、ガバナー訪問時には開かれない年度が続いています。

6月1日開催予定のクラブ協議会は、地区協議会直後に開催が奨励されているものでして、会長エレクトが主催することになっております。

地区大会の直後には、例会における会長の時間で状況報告をさせて頂き、クラブ協議会に代えさせて頂いています。

以上クラブ協議会についてお話をさせて頂きました。



### プログラム予定

6月3日(水)	6月10日(水)	6月18日(木)	6月24日(水)
各委員会報告	各委員会報告 (前週の続き)	創立記念例会 於:大黒天 【親睦委員会担当】	会長・幹事 退任挨拶



Donation **ニコニコ報告**

**鹿間 行雄**

先週の高砂クラブとの親睦ゴルフコンペでは、関係のみなさんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

**竹原 俊三**

次年度各委員会委員長さん、本日次年度事業計画の検討を宜しくお願いします。

**小林 久夫**

一人娘が結婚いたしました。やっと一安心です。お礼までとしてニコニコいたします。

**小西 文孝**

21日の合同コンペで優勝させていただきました。

**脇谷 政孝**

青木先生、先日はお世話になりありがとうございました。

**柿木 國夫・菱田 克己・増田耕太郎**

**志方 正昭・嶋谷 拓雄**

花を飾りましょう。



Secretary **幹事報告**

第38回 通算1402回



**ホームページ開設のお知らせ**  
菱田 会員



小林会員  
娘さんのご結婚祝



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石北ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	6/23(火)
〃	最終例会 移動例会	6/30(火) 6/25(木)
明石南ロータリークラブ	移動例会	6/26(金) 於:西明石キャッスルプラザホテル

## 例会記録 2009. 5. 27 (水) 通算1480回

ソング	「奉仕の理想」「歓迎歌」
四つのテスト	職業奉仕委員会 森脇祥文 委員長
来訪ロータリー アン報告	脇谷 政孝 様 (高砂R.C.)
出席報告	5月13日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 84.62% <修正による> (この内出席免除者10名)
	5月27日 会員数 52名 欠席者 11名 出席率 78.85% (この内出席免除者10名)

## 播磨ゆかりの偉人伝 ③7

### エドウィン・ベイカー 異国で数々の慈善活動

「青い目の良寛さんや」「姫路の聖者さんやな」

そんな声が彼にかけられたのも当然だろう。持ち前の温かい人柄。街を歩いて病氣や貧しさに苦しむ子どもたちに声をかけて励まし、時には自らの家に招き入れくつろぎの時間を与えた。

エドウィン・ベイカー。公式に初めて姫路にやってきた欧米人である。米国マサチューセッツ州生まれの彼は明治22(1889)年6月、宣教のため来日した。熱心なクリスチャン。来日6年目、県立兵庫県尋常小学校(姫路中学)の英語教師として迎えられた。

教師として順調なスタートを切ったベイカーも、本来の目的であるキリスト教を広めることには苦戦した。なにしろ、当時キリスト教への警戒心がまだ、根強く残っていたのである。

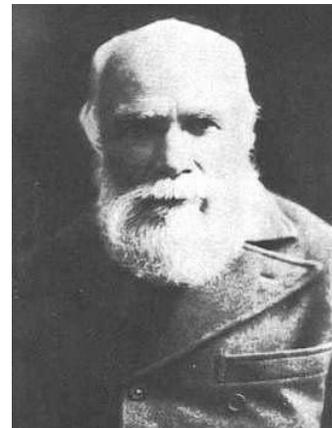
そんな試練にもベイカーは屈せず、さまざまな善行を通じて大勢の人に愛されるようになる。36歳になった時、旧藩士の娘、岡トリを紹介されて結婚した。トリは29歳で熱心なクリスチャンだった。二人三脚の慈善の輪は広げられていった。

トリは、親が働きに出て家にいない子どもを招いてオルガンを弾いて童謡や賛美歌を教えた。ベイカーはというと、遊具を整えたり、遠くから回り道をしてくる子どもたちのために、私財を投じて橋をかけたりした。

中学教師の仕事は6年でピリオドを打った。次に成し遂げたのはトリを園長とするベイカ幼稚園(現ベイカ保育園)の創設。子どもを可愛がるとともに、どぶ掃除に汗まみれになったり、難民の救済に務めたりして地域に溶け込み、キリスト教への偏見を取り除いたのである。

そんなベイカーに東京の大きな教会から「こちらにきてほしい」と勧誘をうけたが、一切応じなかった。富や名誉に執着しなかった人柄がうかがえる。80歳で永眠。ベイカ保育園に聖徳頌徳碑が建てられている。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)